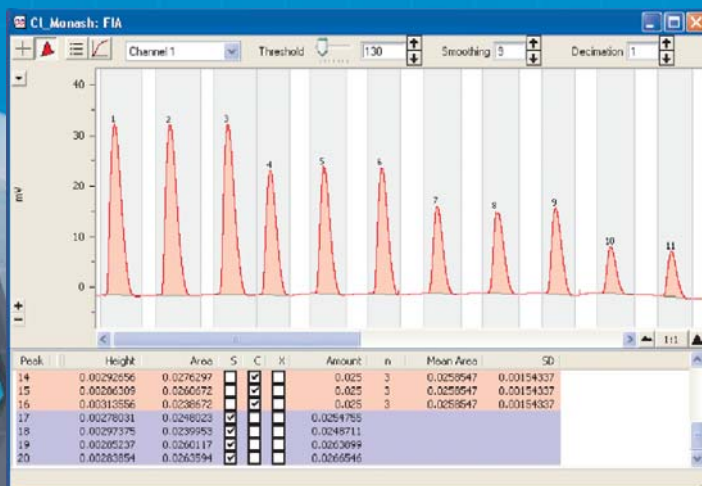


FIAフローインジェクション解析システム

- PCがFIAデータワークステーションに変身
- プログラミングは一切不要のプラグ&プレイ
- 最大2台の検出器からのシグナルを収録
- 入力ゲインは±2mV～±10Vの独立2入力設定
- シグナルのデジタル処理により優れたS/N比を確保
- TTLや接点リレーをトリガー信号としてオートサンプリング装置などに連動
- USB2.0及び1.1に対応



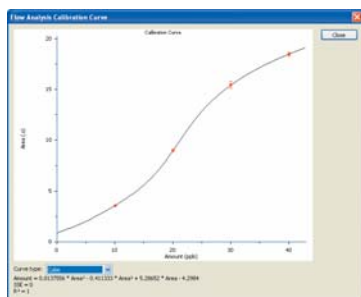
概要

ER282 FIA フローインジェクション解析システムは PowerChrom® 280ハードウェアユニットと Windows対応の Chart™ソフトウェアから構成されています。フローインジェクション解析や同等の実験に最適です。

1台、又は2台のアナログ電圧出力を持った検出器やインテグレータ出力のシグナルを記録します。同等の出力を持った全ての検出器に使用できます。

使用するコンピュータ

Windows 2000、XP以降のOSで、最小128MB RAM、及びUSBポート付きのコンピュータが必要です。



検量線の作成：
直線、原点を通る直線、二次曲線、三次曲線、及び点渡り曲線から選択

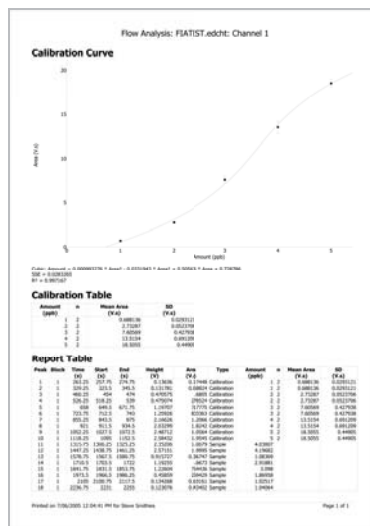


ピークを自動的に検出し、フローアナリシスウィンドウに表示します。

ソフトウェア

ChartソフトウェアとChart専用のFIA(Flow Injection Analysis)及びEvent Manager エクステンションが各ER282 FIA フローインジェクション解析システムに含まれています。FIA エクステンションはChartデータをFIA解析ウィンドウにコンバートしピーク解析します。また、Event Manager は外部装置のオン/オフコントロールに使いPowerChromのデジタル出力を介して制御します。

FIA Chartエクステンションは自動的にピークを検出し、'キャリブレーション Calibration'、'サンプル Sample'または'除外 Excluded'に三分類します。ピークポジションのマニュアル編集や新ピークのセレクトも可能です。ER282 FIAフローインジェクション解析システムのハードウェアは、クロマトグラムの記録解析ソフトウェア ES280 PowerChromにも対応します。



ピークレポート印刷も簡単です

仕様

アナログ入力 / サンプリング

入力チャンネル数	2
入力レンジ	±20mV ~ ±10V
サンプリング	24bit, 12/分 ~ 100/秒

出力

デジタル出力	4 x TTL / 接点リレー
出力分解能	16 bits

外寸

サイズ (w x h x d)	200 x 65 x 250 mm (7.9 x 2.6 x 9.8")
重量	1.75kg (3 lb 14oz)
使用電源	90-260V AC 50/60Hz, 6VA (25mA@240V 又は 52mA@115V)
作動条件	0 ~ 35 °C 0 ~ 90% 湿度 (非結露)

注意：eDAQハードウェアユニットは1年間の品質補償です。

背面



インストルメント接続端子 USB 端子 電源オン/オフ 電源ソケット

オーダーインフォメーション

15600200	ER282 フローインジェクション解析システム (PowerChrom 280, Chart ソフト, FIA Ext.)
15600100	ER280 PowerChrom 280 システム (PowerChrom 280, PowerChrom ソフト)
15621100	ES280 PowerChrom ソフトウェア
15620110	Chart ソフトウェア

www.eDAQ.jp

E-mail: info@edaq.jp

PowerChrom 及び e-corder は eDAQ 社の商標登録です。それ以外の商標はそれぞれの登録者の所有です。

輸入元:



バイオリサーチセンター株式会社 eDAQ 事業部
〒461-0001 名古屋市東区泉 2-28-24 Tel:052-932-6421